

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103484
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	夏季国際インターンシップ(オンライン)/International Online Internship (Summer)
	学部・研究科等名	グローバル教育センター
	担当教職員名・役職	
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	7
	受入企業等数	2
	受入企業等名	FPT大学、バベシュ・ボヤイ大学
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。
1-2.該当する就業体験		1.企業等における業務への従事
1-2.で「3.その他」の就業体験の内容		
1-3.上記回答内容に関する詳細		令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で海外派遣が困難であったため、実習および選考、事前・事後学習を含め全てオンラインで実施された。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年 大学院 修士1年 大学院 修士2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位

2-5.上記回答内容に関する詳細

当該インターンシップ科目はグローバル教育センター設置科目として、全学部・研究科の学生・大学院生を対象に授業期間外に実施している。単位認定については各学部の定めるルールに則り認定されている（大学院生は単位認定対象外）。

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	定期的ではないが、教員がプログラムに同行する場合もあり、その際は必要に応じて教員・学生間で面談を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習の一環として、書類選考・面接審査を行っている。事前に設定された設問について自分なりに考えを整理することで、参加目的を明確化することを狙いとしている。出発前オリエンテーションは外部業者と連携して行い、プログラムへの参加にあたる心構えと、緊急時の身の守り方について指導している。オンラインプログラムの際もプログラム開始前にオリエンテーションを実施し、参加目的の確認や事前学習に関する指導、振り返りの一環である活動報告書の作成方法の指導など行っている。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	プログラム終了後に実施する振り返りセミナーでは、各自が作成した活動報告書をもとにプレゼンを行い、教員の指導の下、振り返りを行う。他のプログラムに参加した学生との交流や意見交換を通して学びを深めることが出来るよう工夫して運営している。併せて、参加者には活動報告書やアンケート等の提出を義務付けている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	定期的ではないが、教員がプログラムに同行する場合もある。その場合は、必要に応じて教員・学生間で面談を行っている。またプログラム終了後に、修了証および個別評価を取得し、学生の成果把握している（3-2-3「3.その他」の回答と同内容）。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	受入先により異なるが、3週間から4週間程度の期間で実施。
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.global.hosei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/c1a9242caee230eec4578c5692741603.pdf https://www.global.hosei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/49290425c6fde868c273bda9616f9f9f.pdf
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	グローバル教育センター事務部 グローバルラーニング課
	担当者役職名	
	担当者氏名	萩原 祥子
	電話番号	03-3264-4088
	メールアドレス	global@hosei.ac.jp